

きょうみしんしん
興味津々、

はじ 初めてのクリスマスの物語

マリヤは、若くて美しい少女だった。そして、大工のヨセフと結婚する約束をしていた。2人は北イスラエルのナザレという村に住んでいた。

結婚式も近づいたある夜のこと、天使がマリヤに現れた。それも、ただの天使ではない。とてもえらい天使だ。ガブリエルという、天使長だよ。天使長というのは、大勢の天使の最高司令官なんだ。大勢の兵隊を率いる軍隊の最高司令官みたいにね。

(聖書には、神様がとても大切なお告げをするために天使長のガブリエルをつかわしたという話がいくつか書かれているよ。)

天使はマリヤに現れると、こう言った。「おめでとう、恵まれた方！ 主があなたとおも共におられます！」¹

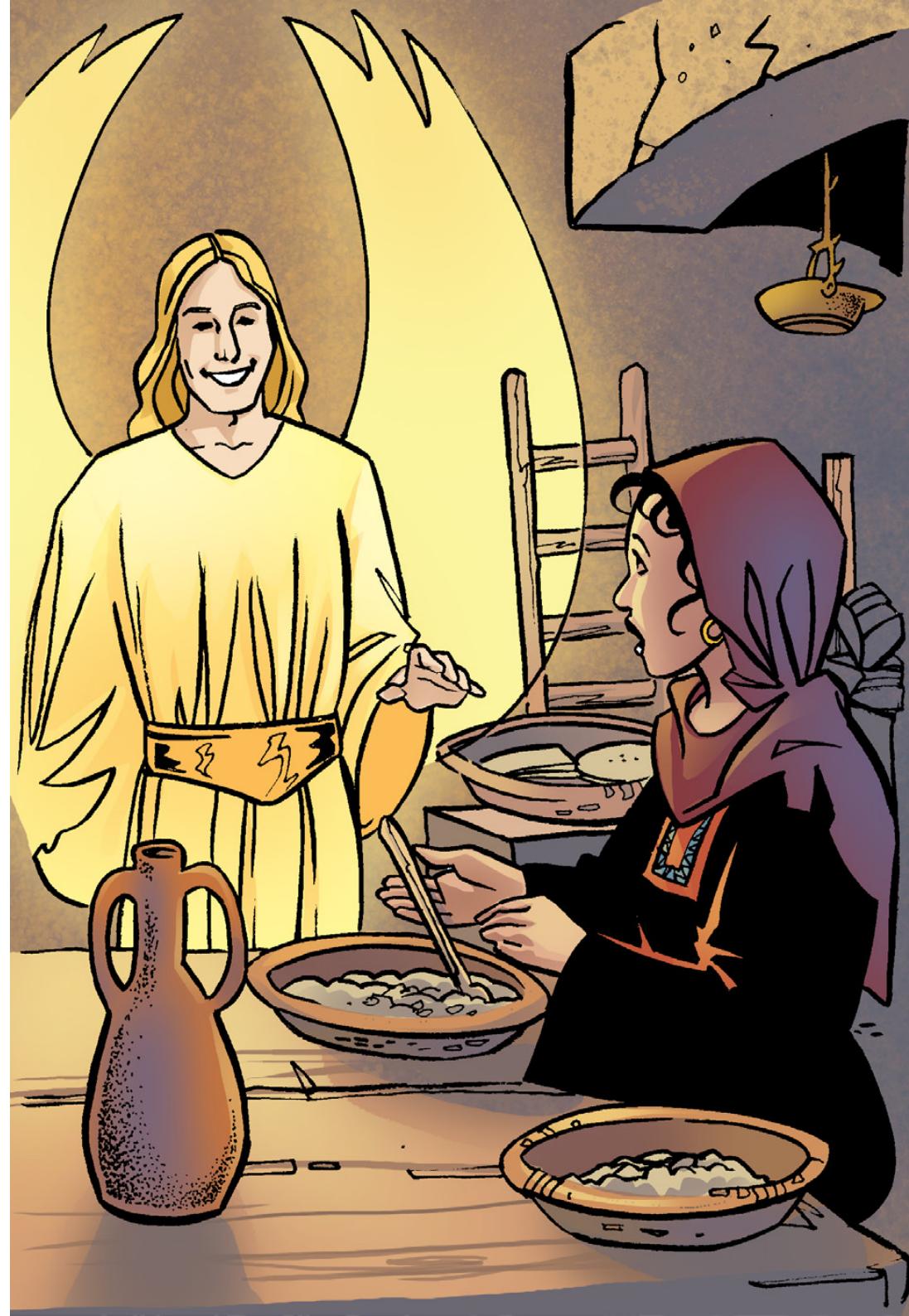
(いったいこの人はだれなの？ それに、何のことを言っているのかしら？)とマリヤは思った。天使が現れるなんて、ふつうのことじゃないからね。だから、マリヤがどんなにおどろいたかは、想像できるよね。

ガブリエルは言った。「こわがることはない、マリヤよ。神はあなたを祝福したいのです。あなたはじきに身ごもって、男の子を産むでしょう。その子をイエスと名づけなさい。彼はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。彼はとこしえにヤコブ（イスラエル）の家を治め、その国は終わることがありません。」²

天使長ガブリエルが話していたのは靈的なイスラエルのことで、信仰によって神の國の一員である人たちのことだよ。イエス様を神様のみ子であると信じる人にとって、イエス様は王様なんだ。

マリヤは天使にたずねた。「どうしてそのようなことになりえましょう。わたしはまだ男の人に知りませんのに。」

天使は答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、神の子と呼ばれます。」³



マタイによる福音書には、主の天使がヨセフに現れて、将来の妻がもうすでに身ごもっているというショッキングな知らせにヨセフを備えさせたことが書かれている。自分の婚約者がほかの人の赤ちゃんを産むんだとわかつたら、男の人にとってはかなりの悩みの種になるだろうからね。

たいがいの人は、きっと婚約をやめるだろう。ヨセフもきっと、マリヤとの婚約をやめることを考えていただろうね。だけど、神様はヨセフにある夢を見せられた。夢の中に主の使いが現れたんだ。

「ダビデの子ヨセフ。おそれないであなたの妻マリヤをむかえなさい。

その胎に宿っているものは聖霊によるのです。

マリヤは男の子を産みます。その名をイエス（「救い主」という意味）とつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」⁴



イエス様を身ごもるとマリヤに話した後、天使はほかにもおどろくような知らせを教えてくれた。「もう1つ、良い知らせがあります。不妊*の女とい言われていたあなたのいとこエリサベツも、老年ながら男の子を身ごもっています。神には、なんでもできないことはありません。」⁵ (*不妊：子供ができないこと)

エリサベツが年を取っていて、もう子どもを身ごもれないことは、マリヤも知っていた。だから、エリサベツも子どもを産むのだと天使から聞いて、マリヤはびっくりした。

このナゾめいた、かつすごい知らせを聞いて、マリヤは天使に答えた。「わたしは主のはしためです。あなたのお言葉を全部信じます。」⁶



あとすぐ、マリヤはエリサベツのところにとまりに行つた。ザカリヤとエリサベツの家に着くと、自分の人生に起きていることをエリサベツに話してもしないうちから、おどろくようなことが起つた。

エリサベツがマリヤのあいさつを聞いたとき、その子が胎内*でおどつた。エリサベツは聖靈に満たされ、大声をあげて言った、「あなたは女の中で祝福された方、あなたの胎の実も祝福されています。主の母上がわたしのところに来てくださるとは、なんという光榮でしょう。ごらんなさい。あなたのあいさつの声がわたしの耳に入った時、子供が胎内で喜びおどりました！」⁷

(*胎内：おなかの中)

まるで、赤ちゃんのヨハネがイエス様の母親の声を知っていたみたいだね。エリサベツは、こう言ってマリヤをはげました。「主が語られたことは必ず実現すると信じた人は、何と幸いなことでしょう。」⁸



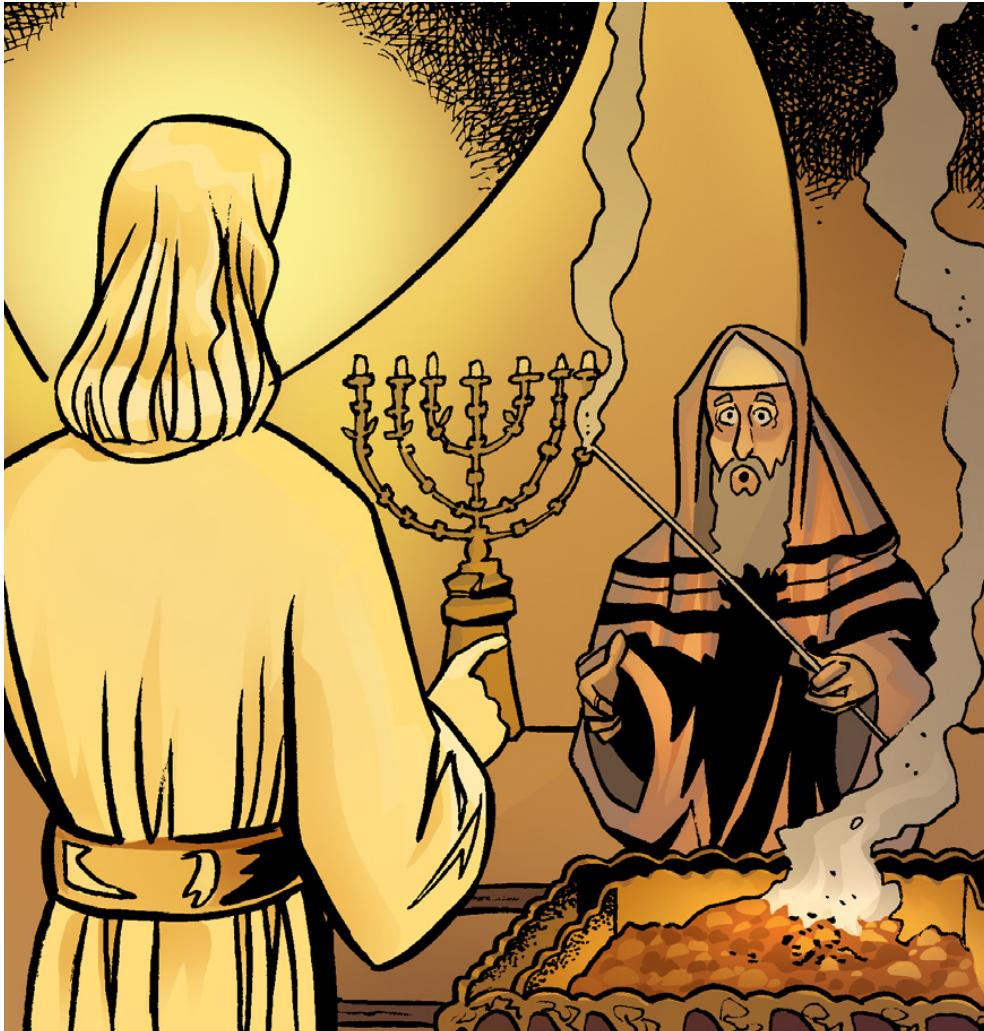
つぎの節は、神のみ子イエスの母親となれてどんなに幸せかを美しく歌い表したものだ。聖母マリヤの賛歌、またはマリヤの歌とも呼ばれている。

「わたしのたましいの魂は主をあがめ、わたしの靈は救い主である神を喜びたたえます。みぶんの低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。」⁹



マリヤは、エリサベツの ところに 三か月ほど 滞在してから 家に 帰った。さて、エリサベツは 月が 満ちて、男の子を 産んだ。

ルカによる 福音書の 第1章には、エリサベツが 子どもを 産む 前に 何が 起こったか、もう少し くわしく 書かれて いる。エリサベツと 夫の ザカリヤには 子どもが おらず、2人は そのことで 非常に つらく 悲しい 思いを していた。ある日、ザカリヤが 神殿で 祭司の 務めを していると、主の 天使が ザカリヤに 現れ、エリサベツが 子どもを 産むと 告げた。



だけど、ザカリヤは 信じ なかった。エリサベツは 子どもを 産むには 年を と取りすぎていたからだ。それで 天使は ザカリヤの 口を 利けなくし、こう 告げた。

「これらのが 起こる 日まで、あなたは ものが 言えなく なります。わたしの 言葉を 信じ かったからです。わたしの 言葉は、その 時が 来れば 実現します。」¹⁰

もちろん、エリサベツが にんしん とき 妊娠した時、ザカリヤは てんし い 天使が 言ったことを 信じた。じっさい お 実際に 起こったからね。

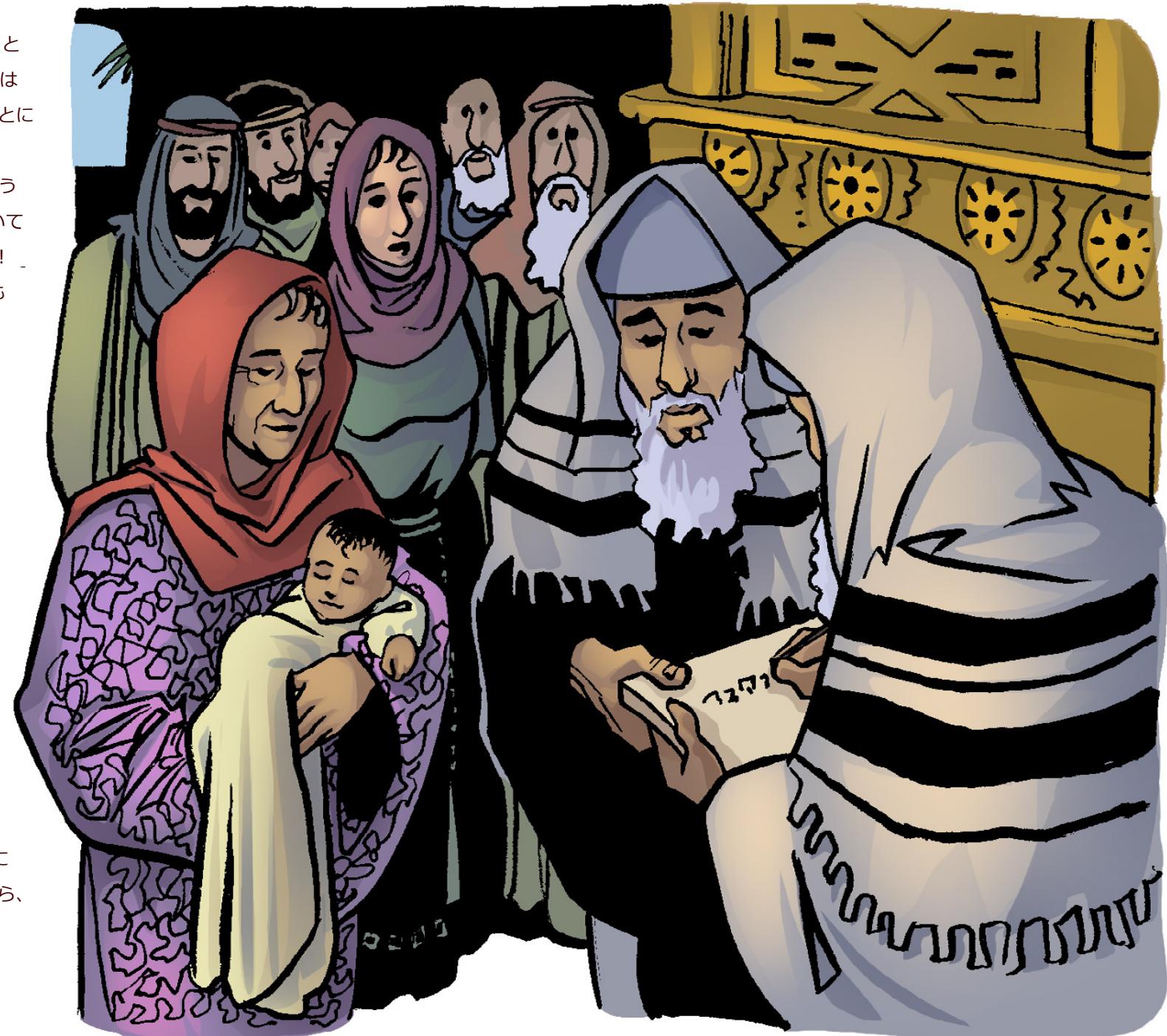
神はザカリヤに、赤んぼうを「ヨハネ」と名づけるように告げた。だけど、そのころは生まれた子供には父親の名前を付けることになっていたんだ。赤んぼうが生まれると、エリサベツは言った。「彼は、ヨハネという名前にしなければ！」すると、それを聞いていた人たちが言った。「それはちがうよ！ 父親はザカリヤだから、赤んぼうの名前もザカリヤにしないと！」

そこで、ザカリヤはこう書きつけた。

「その名はヨハネ！」

その時だ。神に告げられたことに従って、赤んぼうの名前をヨハネにするという自分の信仰をきっぱりと表した時、神はザカリヤの口を開かれた。ザカリヤは、また話すことができるようになったんだ。

ザカリヤは聖霊に満たされ、イエス様についての美しい預言をした。神が約束されたように、力強い救い主がご自分の民を救いにやって来るとね。また、自分の子ヨハネについても、大人になったら人々に罪のゆるしによる救いを知らせ、救い主のために道を備えるという預言をしたよ。それから、靈的な暗やみにいる人たちに命と光と平和をもたらすために、イエスが地上にやって来ることもね。





さて、ヨセフとマリヤは2人ともナザレに住んでいたけど、何百年も前の
預言者ミカの預言によると、救い主はベツレヘムで生まれることになっていた。

「エフラタのベツレヘムよ。あなたはユダの氏族の中で最も小さいものだが、
あなたのうちから、わたしのためにイスラエルを治める者が出る。その出る
ことは、昔からの定めである。」¹¹

さて、マリヤがまさにイエス様を産もうとしていたころ、ローマ帝国の皇帝
カエサル・アウグストが、ローマ帝国に住む人々を全員数えるようにとの命令を
出した。それで、マリヤとヨセフはその人口調査のために、ベツレヘムへ旅を
しなくてはいけなかった。そこがヨセフの故郷だったからだ。

かれのみみむながながたび
彼らは南のベツレヘムへ向かって、長い長い旅をしなければならなかった。
そのようすをえがいた絵ではふつう、マリヤがロバに乗っているよね。だけど、
たとえロバに乗っていたとしても、長い旅にはちがいなかった。ロバは、一步
ある歩くごとにゆっさゆっさとゆれるんだ。だけど、少なくとも歩くよりは、楽だった
だろうね。

さて、ヨセフとマリヤは、ぎりぎりでベツレヘムに着いた。ちょうどその時、
マリヤの陣痛が始まったからね。まさに赤ちゃんが生まれようとしていたんだ！





そこには赤ちゃんを産むための病院もなかつたし、お産を助けてくれるお医者さんや助産婦さんもいなかつたんだよ。それだけじゃない。とまる場所だって、なかつたんだ。きっと、ヨセフの親せきはもうそこには住んでいなかつただろうし、もし住んでいたとしても、彼らがとまれるような部屋はなかつただろうね。だって、ものすごくたくさんの人たちが同じ時にベツレヘムへ帰って来ていたんだもの。

それで、ヨセフは宿屋の扉をたたき、部屋が空いていないかとたずねた。

宿屋の主人は、信じられないといった表情で笑った。
「部屋だって？まさか！ 税金をはらいにそこら中からベツレヘムにやって来た人たちでいっぱいなのに、空いてる部屋なんて、ありませんよ！ 満員御礼です！」

「でも、妻が今にも赤んぼうを産みそうなんです。どこかにねかせなくては！」ヨセフはしきりにねが願った。

宿屋の主人は、マリヤをあわれに思って言った。
「そうだねえ、馬屋になら、今夜とまってもいいよ！」
たとえ動物たちといっしょでも、少なくとも寒さやあめがね雨風をしのぐことはできるからね。

その夜、マリヤは馬屋で赤んぼうを産み、布にくるんで飼い葉おけの中にねかせた。飼い葉おけが何か、知っているかい？ ふつうは木でできた、家畜がえさを食べるためのえさ入れだよ。そこに干し草や穀類を入れるんだ。12



さて、ちょうどイエス様が生まれたころ、外の丘の方では羊飼いたちが羊の番をしていた。そこへ1人の天使が現れて、こう言ったんだ。「今、わたしはこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来ました。きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられる乳飲み子を見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです！」¹³

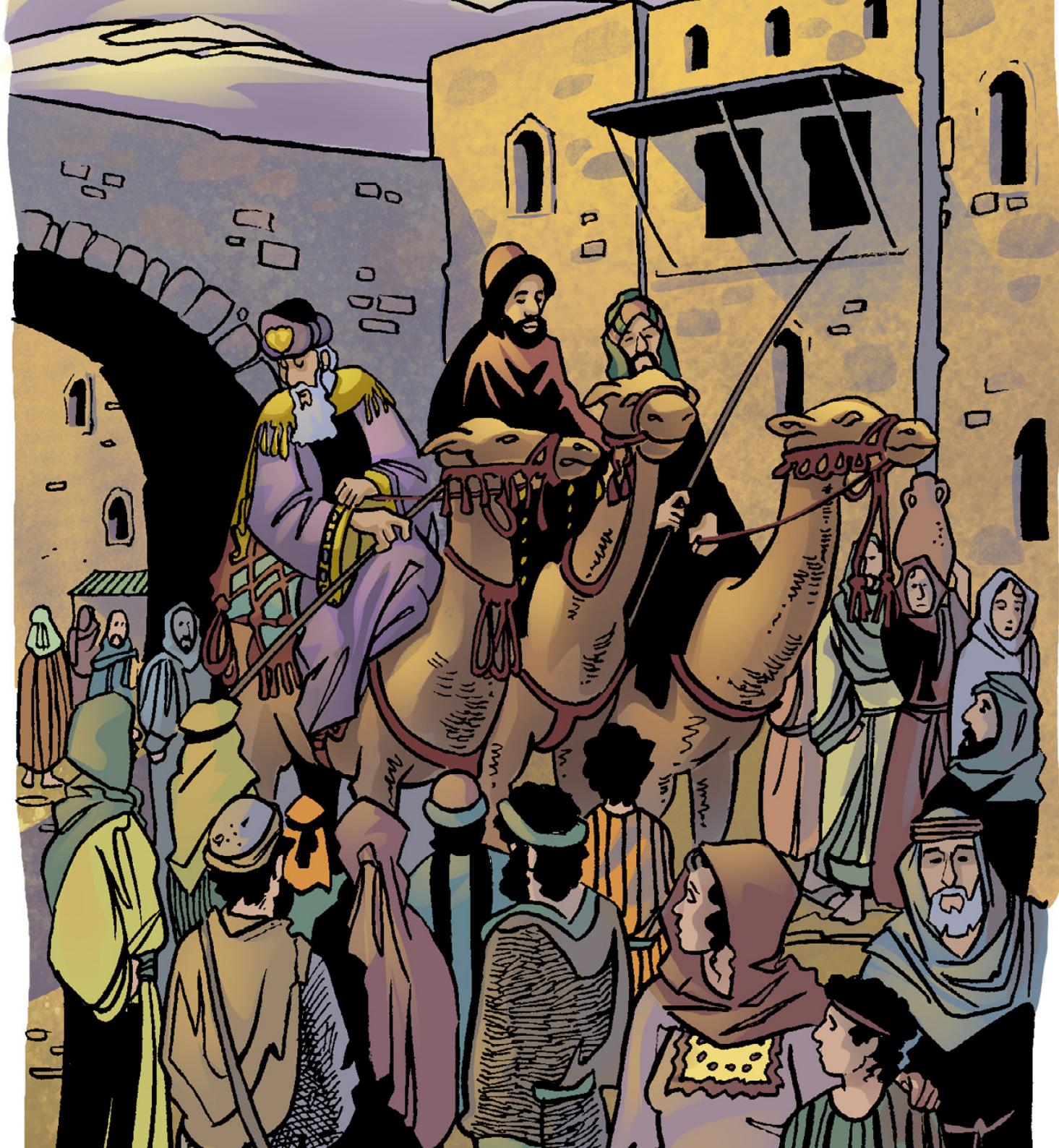
そのおどろくばかりの知らせの後、ものすごく明るい光が空中に広がり、天使の群れが現れて歌い始めた。「いと高きところでは、神に栄光があるように！地の上では、み心にかなう人々に平和があるように！」

羊飼いたちはこの知らせを聞いてとても興奮し、天使が消えると、こう言った。「救い主に会いに行こう！」



そして、羊飼いたちはベツレヘムへ出かけて行き、何らかの方法でイエス様を見つけた。神様が彼らを導いてくださったんだね。羊飼いたちは、馬屋で飼葉おけに寝ているイエス様を見つけたのだから。マリヤとヨセフはきっと、とても喜んだにちがいない！天使が羊飼いたちに現れて、救い主イエス様が生まれたことを告げられたと聞いて、とても興奮しただろうね！¹⁴

さて、その後 ヨセフと マリヤと 赤んぼうの
 イエス様は、ベツレヘムに とどまったく。
 ヨセフは 腕の いい 働き者の 大工だったから、
 きっと 家族を 養うために 仕事を 見つけただろうね。
 ホテルや 宿屋には いつも 直さなくちゃ いけない
 部分があるから、初めの内は 宿屋の 主人のために
 働いたことだろう。宿屋の 主人は きっと ヨセフに
 仕事を 与えて、彼らが 家を 見つけるまでの間、
 馬屋に いさせてくれたんだろうね。
 はるばる メソポタミヤから 博士たちが やって
 来たのは、イエス様が 生まれた 約2年後だ。彼らは
 占星術師だったので、星を 読んでいた。星を 調べて
 いた時、神様が ユダヤに 偉大な 王様が 生まれたことを
 示された。それが だれかは 知らなかつたけどね。
 神様は 星を 使って 博士たちを 導いておられたが、
 明らかに、自分たちの 理解力に 頼つて こう 思つた
 んだろ。「あの 星が わたしたちを 導いている
 ユダヤの 王が どこに おられるか、エルサレムの 王に
 聞いてみよう！ ヘロデ王なら、偉大な 王が どこで
 生まれたかぐらい、知つて いるだろから。」
 それで、星を たどり続ける代わりに、ヘロデ王に
 聞きに 行つたんだ。
 ヘロデ王は 思つた。（何て ことだ！ わし以外の
 王が この国に 生まれたって？ 王は、この わしなのに！）



それから する賢い じゃ悪な 王ヘロデは 考えた。 (わしも、その王が どこに いるか、知りたいものだ！) そして 博士たちに こう 言った。「ユダヤの 王を 見つけたら、わたしにも 知らせてほしい。わたしも、彼を おがみに 行くから！」



だけど、ヘロデ王は ユダヤの 王を おがみに 行こうなんて、全然 思って いなかった！ 殺そうと していたんだ！ ヘロデ王は 自分の 博士たちを呼び 入れて 言った。「この 『ユダヤ人の メシヤ』だとか いうのは、じっさいの ところ、どこで 生まれることに なって るんだ？」 彼らは 答えた、「聖書の 預言に よりますと、彼は ベツレヘムで う生まれることに なっております。」 「ユダの 地、ベツレヘムよ、おまえは ユダの 君たちの 中で、決して 最も 小さい ものでは ない。おまえの 中から ひとりの 君が 出て、わが民 イスラエルの 牧者と なるであろう。」¹⁵ さて、博士たちは 再び 例の 星に 導かれて、ベツレヘムに やって來た。そこで イエス様を 見つけ、持ってきた 3つの 贈り物を ささげたんだ。 家に 入ってみると、幼子は 母マリヤと 共に おられた。彼らは ひれ伏して 幼子を おがみ、宝の 箱を 開けて、黄金、乳香、没薬を 贈り物として ささげた。¹⁶



乳香は高貴な香水またはお香で、祭司に与えられるものだった。金は、王であることのしるしだ。この2つの贈り物は、イエス様が王であり、神の御子であるといふことをしるしなんだよ！

没薬は、お葬式の時に使う香水だ。この贈り物は、イエス様がわたしたち人類を罪から救うために死ぬことを意味していた。

さて、神様は夢の中で博士たちに言われた。「ヘロデ王の元へ帰ってはいけない。ヘロデは、イエスをおがみのではなく、彼が偉大な王になって自分の国をうばい取るのではないかと案じ、しっとしているからだ！」

それで、博士たちはじゃ悪な王ヘロデを無視し、ほかの道を通って帰ったんだね。一方ヘロデは、博士たちが帰って来るのを今か今かと待っていたが、彼らはもどって来なかつた。

彼らが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまつていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」

ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、ヘロデが死ぬまでそこにいた。¹⁷





エジプトまでは、ベツレヘムから
やく 約300kmも ある。昔は 長旅だった。
むかし ながたび
けれども 神様は、ヘロデ王が い
かみさま おう い
あいだ 間は、そこなら イエス様が 安全だと 知って
さま あんぜん し
かね おられたんだね。

ヨセフは ただの 大工だったのに、
だいく
どうやって そんな 長旅の 費用を まかなえたと
おも ながたび ひよう
たび かね
思うかい？ 旅するには、お金が かかるからね！

ロバに 乗るんだったら、きっぷを 買う 必要は
の か ひつよう
たび しょくりょう りょごうひん
ないけど、旅を するには 食料や 旅行用品が
ひつよう
必要だ。きっと、テントや その他の キャンプ
ようひん も い
用品も 持って行つただうしね。

かれ みし くに がいこくじん
それに、彼らは 見知らぬ 国で 外国人として
なんねん く しごと
何年か 暮らさなければ ならなかつた。仕事も
なかつただうし、最初は 言葉も 話せなかつた
さいしょ ことば はな
だろう。でも、生活していくには お金が
ひつよう
必要だよね。

おぼ 覚えてるかい？ 博士の 1人が、イエス様に
はかせ ひとり さま
きん おく もの
金の 贈り物を ささげたよね？ それで、生活費は
せいかつひ
じゅうぶん あったんだ。神様の なさることは
かみさま
すばらしいね？ かれ せわ ひつよう
きょうきゅう
彼らの 世話を し、必要な
ものを ことごとく 供給して くださつたんだよ。

さて、ヨセフと マリヤが イエス様を 連れて
さま つ
ベツレヘムを 出た 後、ヘロデ王は 兵隊たちに、
で あと おう へいたい
ベツレヘムへ 行つて イエス様を 探して 殺せと
い さま さが ころ
めいれい
命令した。だけど 神様が ヨセフに 警告して
かみさま
けいこく
くださつた おかげで、ヘロデ王の たくらみは
しつばい お
失敗に 終わつたんだ。

数年後、神様はヨセフに言われた。「ヘロデ王は死に、危険は過ぎ去った。もうナザレへ帰るがよい。」それで、彼らはナザレに帰ったんだ。彼らは、かなり長い間いなかったよね。それで、家族も友だちもきっと、いったい彼らに何が起こったんだろうと思っていただろうね。妻が身重の若い夫婦がベツレヘムへ行ってしまったと思っていたら、何年もたって育ち盛りの男の子を連れて帰ってきたんだ！

イエス様はおそらく、エジプトにいた人たちからいろんなことを学んだだろうね。そのころエジプトは、技術も文化もとても進んだ国だったからね。エジプトは、神様がモーセを送って教育を受けさせたところでもあるんだよ。

それによって、エジプトから神の御子が来ることについての預言が成就したんだ。「わたしはわが子をエジプトから呼び出した。」¹⁸ということで、これが、2000年前の初めてのクリスマスの物語だよ！そしてすばらしいのは、イエス様が今でもわたしたちといっしょにここにおられるっていうことなんだ！



TFI出版物の編集：MWSスタッフ 絵：ジェレミー 彩色：サン德拉・レイン デザイン：ロイ・エバンス
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2018年、ファミリーインターナショナル “The Intriguing Story of the First Christmas”--Japanese
関連の読み物はこちら ⇒ イエス様、クリスマス、子供のための物語

神様がみんなを祝福し、守ってください
ますように。また、みんなを他の人たちへの
祝福としてくださいますように。そして、
あの歌のように、「あなたのすべての
クリスマスが、明るいものでありますように。」

脚注：

¹ ルカによる福音書 1:28、新改訳聖書

² ルカによる福音書 1:30-33参照

³ ルカによる福音書 1:34-35参照

⁴ マタイによる福音書 1:20-21、新改訳聖書

⁵ ルカによる福音書 1:36-37参照

⁶ ルカによる福音書 1:38参照

⁷ ルカによる福音書 1:42-44、口語訳聖書

⁸ ルカによる福音書 1:45参照

⁹ ルカによる福音書 1:47-48、新共同訳聖書

¹⁰ ルカによる福音書 1:20参照、新改訳聖書

¹¹ ミカ書 5:2参照

¹² ルカによる福音書 2:1-7を読んでね。

¹³ ルカによる福音書 2:10-12参照、新改訳聖書

¹⁴ ルカによる福音書 2:13-19を読んでね。

¹⁵ マタイによる福音書 2:6、口語訳聖書

¹⁶ マタイによる福音書 2:11、新共同訳聖書

¹⁷ マタイによる福音書 2:13-15参照、新共同訳聖書

¹⁸ ホセア書 11:1、口語訳聖書